

第146回東北地方交通審議会
船員部会 議事要録

令和 2 年12月18日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北地方交通審議会 第146回船員部会

日 時 令和 2 年 1 2 月 1 8 日 (金) 1 3 : 3 0 ~

場 所 仙台第 4 合同庁舎 4 階会議室

出席者 公益委員 : 高橋(真)部会長、増田部会長代理
豊田委員、佐々木委員

労働者委員 : 鈴木委員、高橋(雅)委員、奈良委員

使用者委員 : 勝倉委員、増富委員、平岡委員

運輸局 : 寺川海事振興部長(欠席)、丹藤海事振興部次長
菊池船員労働環境・海技資格課長
斉藤船員労政課長、鈴木専門官、渡邊労政係長

議 題

- (1) 管内の雇用等の状況について
- (2) 情報提供について
- (3) その他

(資料)

- 資料 1 船員職業安定業務取扱状況説明資料(10月分)
資料 2 新規求人・求職数(東北管内:3年対比)
資料 3 有効求人・求職数(東北管内:3年対比)
資料 4 新規求人・求職数(全国)
資料 5 有効求人・求職数(全国)
資料 6 有効求人倍率(東北管内)
資料 7 有効求人倍率(全国)

- 参考資料 第3回ハローワーク等との連携に関する連絡会議資料
- ・内航海運の現状について
 - ・旅客船事業の現状について
 - ・漁業就業者確保の取り組み
 - ・公共職業安定所(ハローワーク)について
 - ・船員の雇用情勢及びハローワークとの連携状況について

参考資料 船員の働き方改革の実現に向けて

参考資料 行政手続における押印等の見直しについて

参考資料 東北運輸局管内における船員災害・疾病発生状況

参考資料 漁師募集短編動画プロジェクト(要旨)

三陸新報記事

参考資料 徳島阿南校六級海技士募集リーフレット

◎開 会

【丹藤海事振興部次長】

〔第146回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料の確認〕

◎議 事

(1) 管内の雇用等の状況について

【高橋（真） 部会長】

それでは、議事に入りたいと思います。

お手元にあります議事次第の議題（1）「管内の雇用等の状況について」、事務局から報告をお願いします。

〔斉藤船員労政課長から資料1～7に基づき報告〕

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございました。

ただいまの報告内容について何かご意見、ご質問等ありますでしょうか。

(2) 情報提供について

【高橋（真） 部会長】

なければ、次に議題の2番目、「情報提供」に入ります。

初めに、前回の部会でご承認いただきましたとおり、委員の皆さんで意見交換したいもの、話し合いたいものについて出させていただいて、その後、出されたものが意見交換にふさわしいかどうかを委員の皆さんにお諮りしてという段取りでいきたいと思います。

それでは、何かありますでしょうか。提出された資料に関してはどうでしょうか。

【高橋（雅） 労働者委員】

今回、ハローワークとの連携に関する連絡会議の資料を提出しましたが、なぜこういう会議が持たれたかということですが、内航船のほうで司厨部の方を養成する学校がなくなり、それで司厨部のなり手がいないということで、それだったら陸上の調理師免許を持っている方を採用しようということから、それでハローワークとの連携の下にこういう会議が持たれるようになりました。それを基にして、今は、陸上の方でも船員を目指す方がおりますので、そういう連携の下、取り組んでいこうという会議です。また、今回は、内航、旅客、あと漁船のほうの

取組状況についても、参考になればと思い、お持ちしました。

【高橋（真） 部会長】

分かりました。それでは、頂いた資料については、各委員見ていただいて、参考にしていただきたいと思います。

【高橋（雅） 労働者委員】

あともう一つ、船員の働き方改革の実現に向けてという資料も、参考ということで皆さん見ていただきたいと思います。それで、これには、いろいろマーカとか入っているようですが、多分、次の中央の船員部会で大体これがまとめということで公表されるのではないかなと思います。

【高橋（真） 部会長】

分かりました。ありがとうございます。

【高橋（雅） 労働者委員】

ただ、漁船は水産庁が絡んでいますので、今後これを参考にして漁船の働き方改革のようなものができてくると思います。

【高橋（真） 部会長】

これは貨物船とか旅客船が中心ですか。

【高橋（雅） 労働者委員】

貨物船、商船が中心です。漁船以外だと思っていただければ。

【高橋（真） 部会長】

分かりました。ありがとうございます。そのほか何かありますか。

【高橋（雅） 労働者委員】

もう、情報交換でいいですか。

【高橋（真） 部会長】

情報交換も含めて情報提供でいいです。そのあと話合いに行ければいいので。

【高橋（雅） 労働者委員】

分かりました。皆さんも新聞でご承知と思いますが、商業捕鯨の件です。11月30日に日新丸が今年の操業を終わって仙台港に入港しました。9月26日に広島の間島を出港して、房総、三陸、道東の沖合で操業し、ニタリクジラ43頭、イワシクジラ25頭を捕獲しております。

それで、今年が通算3度目の操業ということで、商業捕鯨を再開後2年目のシ

ーズンが終わったということです。漁獲枠として設定されたのが、ニタリクジラ187頭、イワシクジラ25頭、これを全て漁獲しているということです。

今回、仙台港で水揚げしたとき、本来は、全て凍結してくるものなんですが、生のものを持ってきて、仙台の市場に上場して、結構いい値段で取引されたということです。

【高橋（真） 部会長】

そのほかございますか。

なければ、では使用者委員からお願いします。

【勝倉使用者委員】

情報提供ということで、漁師募集短編動画プロジェクト要旨と新聞記事を提供させていただきました。

今、高橋委員からの情報提供の中の資料3、漁師.jp、漁業就業者確保の取組に関連しての事業ということになります。これまで気仙沼では宮城県北部船主協会を中心に、従来からの水産高校へ訪問してのリクルート活動であったり、この漁業就業者フェア、こういったところへの参加、あとは漁業ガイダンス実施、ホームページでの求人、そういったものを中心に新人船員の募集活動を行ってきていまして、これまでに東日本大震災以降132名の新人船員を洋上に送り出してきました。現在16人が待機していまして、順次気仙沼の船に乗船して出港する段取りになっています。

ただ、現在、船員の高齢化も非常に進んでいる中で、新規船員を募集するといっても、これからは少子化、人口減少により働き手がいないというところもありますので、その中でやはり我々の漁業のイメージアップを図っていく必要があって、今、ユーチューブとか見てみますと、借金まみれの人が乗る仕事だみたいな、いろんな誤解、偏見を生じかねない、そういう情報がかなりいっぱい散見されるというところがありまして、私たちの実際の漁業というのはどういうものなのか、どういう人たちが、どういう船に乗って、どういう魚を獲って、どういう漁業を行っているのかというところを、これからいろいろな仕事を探していこうという若い人たちに簡単に見られるメディアとして短編動画をつくり、それをユーチューブとかで配信していくんですが、大体5分程度の短編動画をつくりまして、それを配信していくというプロジェクトを今、行っています。

宮城県北部船主協会からの提案で、マグロ漁船の中央組織である日本かつお・まぐろ漁業協同組合の経済組織である日かつ共同株式会社を中心にしまして、専門の制作会社に動画撮影をお願いして、先日気仙沼に撮影部隊が入り、今、出漁準備をしている2隻のマグロ漁船の港での様子、あとドローンを使った空撮とか出港のシーン、いろいろそういったものを織り交ぜながら動画をつくっていき、全国の船を対象にして、とりあえず遠洋マグロ漁船で8本、遠洋カツオさお釣り漁船で2本、合計で10本の短編動画をつくってユーチューブに乗せて、あとはツイッターであったり、インスタグラム、ティックトック版のショート版もつくる

予定です。そういった若い人たちがより身近に感じられるSNSとかを使ってこれから新人の発掘を行っていきたいという計画がありまして、来年の3月末までにこの動画は完成予定です。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。そうすると、4月くらいから見られるということですか。

【勝倉使用者委員】

そうです。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。それでは、使用者委員からそのほかお願いします。

【増富使用者委員】

前回の部会でお話しさせていただきました免税軽油の特例措置について、先日延長が決まり、令和6年3月31日まで延長ということでした承を得たところでございます。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。そのほかございますか。

【平岡使用者委員】

10月の内航輸送使用元請オペレーター60社による貨物船の輸送量は、前月比で12%増、前年同月比で2%増となり、昨年4月以来15か月ぶりに前年を上回りました。コロナ禍から回復したものの、前年同月は消費増税に伴う輸送量の減少に加え台風による輸送障害が頻発し、輸送量が低迷していたことを考慮すると、本来の水準まで回復するにはまだ時間がかかりそうです。

また、貨物船の4月から10月までの累計輸送量は、前年同期比で12%の減少となっております。

資料のとおり、船員の働き方改革の実現に向けては取りまとめられましたが、用船料が下げられている現状では取組が困難な状況となっております。船員の働き方改革を実現するには、適正な運賃、用船料の収受が不可欠であり、貨物自動車運送事業のような標準的運賃や用船料の設定が必要だと思います。

【高橋（真） 部会長】

そのほか、ありますか。

【勝倉使用者委員】

気仙沼港でのサンマ漁がこの12月の上旬で全船終了しました。そして、数量的

には、去年が大体全国で4万トンの水揚げ数量でしたが、今年はそれを2万5,000トン下回るような減少ですが、単価高によって去年の水揚げ金額を10%くらい上回ったという形になりました。ただ、やはり漁獲数量が少なくなっているものから、来年、再来年の漁業の継続が非常に心配される部分と、あと加工業者等からは、サンマの単価が非常に高くなっているの、サンマに関しての加工商材としての使い勝手が非常に心配だという話が出ています。

それと、サンマ漁船は大体大型船が50隻くらいありますが、そのうち、気仙沼港に今現在、今日の朝の時点で27隻が、来年の6月、7月まで長期係留することです。それで、去年までは皆さんばらばらに係船していたので、やはり非常にすき間が空いていたり、ほかの出入りする船の迷惑になっていたということで、今年はサンマ漁船の係留場所はここですという形できっちりルールを決めて、協力をお願いしたところ、きっちり係留できて、長期係留する船と出入りする船のすみ分けがうまくいったという報告を受けています。

また、サンマ船のことはよく分からないところですが、切り上げますと、恐らく一旦雇い止めになるのではないかなど。ほとんどの会社が多分そうするのかなと思います。（「そのとおりです」の声あり）それが今後の求人・求職数の推移のところに現れてくる。50隻くらいありますから、全員日本人船員なので、そこが今後の数字の変化にも現れてくると思います。その辺は注意して見ておく必要があるのではないかと思います。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。先月イカの話がたしか八戸から出ましたが、イカはもう終わりましたか。

【鈴木労働者委員】

TACの関係で、前回言ったトン数よりまた一段と下がって、一隻、今3トンくらいしか捕れません。イカはいるのにそこまでしか捕れないので、イカだけでは商売にならないということで、3トン捕った後は、イカをやめて魚のほうに、タラとかスケソウとかカレイ類を捕りに行っています。

【高橋（真） 部会長】

漁獲量が減るとその分、単価は、金額は高くなると思いますが、実際に漁獲数が減ってくると、船の数や船員の数というのは、減ってしまうのではないかと思います。

【勝倉使用者委員】

去年より例えば10%アップしたとしても、サンマ漁船が全部よかったわけではなく、そこにはやはり船間の水揚げ高の差というのがものすごくありまして、去年よりもよかった船もあれば、去年よりも悪かった船もあり、水揚げ高だけで見れば、恐らく3倍くらいの差があります。だから、それを合計すると去年より

10%いいということなので、全ての船が成績がよかったということではありません。ですから、船員の動きも、そういうところに影響しているのではないかと思います。

【高橋（真） 部会長】

そうすると、船員としての所得自体はある程度確保できていると考えていいんですか。

【鈴木労働者委員】

ある程度確保はできますが、今言ったようにイカがいるのに捕れないということは、イカが今、サンマと一緒に非常に値段がいいので、それを捕るのと、別な魚を捕るのとではやっぱり収入はかなり違います。

【高橋（真） 部会長】

分かりました。ありがとうございます。
そのほか、では情報提供で何かありますでしょうか。

【増田部会長代理】

先ほど、サンマ船が漁を終えた後ずっと係留されているということでしたが、設備の上でほかの漁には使えないんですか。

【勝倉使用者委員】

かつてはサンマが終了した後にマグロはえ縄をやった時代もありました。ただ、近年はもう全部サンマ専門の船員なので、マグロはえ縄のノウハウがないということもあって、また、やはりサンマだけで収支が取れるというところも大きいと思います。それで約4か月間操業し、あとの8か月は休んでいる状況です。

【増田部会長代理】

何となくもったいない気がします。

【鈴木労働者委員】

昔は年間12か月間全部動きました。サケ・マスをやって、サンマやって、今勝倉委員が言ったようにマグロはえ縄をやって、だから12か月全部動いていましたが、採算が合わないのと、あとサケ・マスがロシアの関係で駄目になったのとで、だからサンマだけの4か月になっています。

【勝倉使用者委員】

ロシアのサケ・マスができなくなったというのが大きいですね。

【鈴木労働者委員】

それが一番大きいです。

【高橋（真） 部会長】

あとは、今、全国的にG o T oトラベルが停止となり、海上旅客のほうで、年末年始は結構船を使つての移動もあると思いますが、その辺の状況はどうでしょうか。家族ぐるみで帰るといふときは、やっぱり船を利用する人が多いと思いますが。

【増富使用者委員】

今の予約状況等を見ると、ほぼないと思っています。11月くらいまでですとG o T oの影響で団体のお客様も予約はかなり、昨年並みくらいは入っていましたが、ただ、東京を中心にコロナ感染が増えてきた途端に、その団体のキャンセルも11月半ば以降くらいから出てきておまして、それと同時にもう新規の予約はほとんどなくなってというところなんです。あとは1月11日からまた再開するような話はされてはいるものの、特にその11日以降も動きはあんまり感じられない。旅行会社さんも、4月以降で考えているようで、4月以降の商品造成の動きは若干見られているというところなんです。

【高橋（真） 部会長】

その場合、船の運航は止めるんですか。

【増富使用者委員】

止めることはないです。感染者が出たりすると別ですが、年末年始に人の動きがなくても、荷物関係はどうしても、行けない分、増えると見込んでおりますので、そちら中心で運行することになると思います。

(3) その他

【高橋（真） 部会長】

分かりました。ありがとうございます。
それでは、そのほか何かありますか。
なければ、事務局からお願いします。

[菊池船員労働環境・海技資格課長から「東北運輸局管内における船員災害・疾病発生状況」について説明]

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。今の東北運輸局管内における船員災害疾病発生状況についての説明に関して何か質問とかありますか。

【勝倉使用者委員】

一つ確認です。この図5で筋骨格系が28.9%となっていますが、筋骨格系の疾病というのは具体的にどのようなものですか。

【菊地海技資格課長】

腰痛というのが多分多いと思います。

【高橋（真）部会長】

ほかにありますか。

なければ、次も事務局からお願いします。

[斉藤船員労政課長から「徳島阿南校六級海技士募集リーフレット」に基づき報告]

【高橋（真）部会長】

ありがとうございます。今の報告に関して何かご質問、ご意見ありますでしょうか。

それでは、ないようですので、本日の議事は終了といたします。

次回は、来年の1月22日金曜日の13時30分から、会場はここ4階会議室で開催します。

◎閉 会